

令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 4年 3月31日

学校法人森本学園
認定こども園高須幼稚園

1. 本園の教育目標

- 健康で明るい子ども ○思いやりのある子ども
- 自分で考えのびのび表現できる子ども ○最後まで頑張る子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- やる気・優しさ・たくましさを育む「見守りの保育」
- 園児の良さを認め一人ひとり大切にされた教育実践に努める
- 0～5歳の一貫した保育・教育で“全職員が全園児を”

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	○保育・教育目標について ○指導について ○教育週数・教育時間 ○行事について	A	○特色ある学校づくりに取り組めており、教育数週・教育時間も確保できている。 ○コロナ過であるが、内容を縮小しながら行事を開催できている。
2-1	○経営・組織 ○研究・研修	A	○子供たちの安全を一番に考えた、経営ができている。 ○オンラインを活用した研修に積極的に参加し、県の教育アドバイザーを有効に活用できている。また、研修内容も教員間で共有できている。
2-2	○情報について ○施設・設備 ○出納経理 ○他校種間交流・連携 ○家庭・地域社会との連携	A	○情報は、動画配信などを活用しリアルタイムに発信できている。 ○ブロック塀をフェンスに改修したり、インターフォンの設置や門扉をオートロック化し、安全対策に取り組んでいる。 ○会計は適切に行われている。 ○他校種間・家庭・地域との連携は、コロナ過で縮小の傾向にあるが、できることに取り組んでいる。
2-3	○開かれた幼稚園づくり	B	○園庭を開放するなど、地域の子育ての拠点としての役割が果たせている。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	○子供たちのことを第一に考えた教育活動に取り組めており、コロナ過でも感染対策を十分に行い、行事などに取組み教育活動の歩みを止めていない。 ○各種安全対策を講じ、安心して通える園づくりに取り組んでいる。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	指導について	○園内研修会で指導方法を共有し、年齢にあった適切な教材・教具を使用する。
2-1	分掌・体制	○若手教職員の育成に、OJTを活用する。
2-2	他校種間交流・連携	○校種間で行事予定のすり合わせを行い、交流を図る。
2-3	子育て支援の推進	○園庭開放・親子登園を継続して実施する。また、SNSなどを活用し情報発信する。 ○特別な支援を要する子どものために、高知市教育研究所と連携を図る。

6. 学校関係者評価委員会の評価

本園の教育目標・保育目標には、目指す子ども像が明確にされており、木育など特色ある学校づくりに取り組んでいる。

また、コロナ禍の影響を受けながらも、学習、行事などに歩みを止めずに教育活動を展開し、子ども中心の園づくりが進められていることは大変好ましい。今後も期待して園の成長を確認していきたい。

評価委員

氏名 立仙 里枝



氏名 岡本 憲和



令和3年度 認定こども園における自己点検・自己評価

園名 認定こども園高須幼稚園

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入して下さい。

【記入方法】

- ・A・B・C・Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
- ・項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

1 教育課程及び保育計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	①保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			園内研修、職員会で協議し実行している。
	②目標は、園や地域の特色を生かしているか。	○				
	③目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	④目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	⑤目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
指導について	①指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			今年度初めての3号認定保育課程で手探りの部分もあるが、3号保育経験者の協議で柔軟に対応している。 3号認定の教材も園児に優しい教材を準備し適切である。
	②各教育・保育要領に基づく指導援助を適切に行っているか。		○			
	③環境の構成を意識した指導の方法や過程を常に工夫しているか。		○			
	④教材・教具を適切に活用しているか。	○				
	⑤評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
教育週数 教育時間	①教育週数を確保しているか。	○				教育・保育短時間・保育標準時間共に最低時間数を確保し園児に負担がかからないように設定している。
	②登園・降園時刻と1日の流れは現行でよいか。	○				
行事について	①行事の種類や実施回数は適切か。	○				各行事の反省は職員会で協議し、今後の保育活動に活かしている。 今年度3号認定の園児に対し行事を導入し負担のかからないよう、順番等を優先した。
	②行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	③乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	④計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	⑤保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

2 教育・保育課程の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	①能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				各自業務分掌を割り当てし、各自が自覚して実施している。配置は必要教員数で充足している。
		②職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		③職員の配置は適材・適所か。	○				
		④係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	①各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			必要に応じて実施している。新人に対し、会合に打ち解ける雰囲気作りが課題。
		②職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		③打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
	学年・学級経営	①学年・学級目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				少数を逆手に取り、全園児が隔たり無く様々な活動を実施。それぞれの子どもの姿を見て、計画されている。3号認定は育成記録が活用されている。
		②学年・学級目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		③学年・学級目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		④同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		⑤意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○				
		⑥評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	①学年・学級経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				災害計画は消防署の義務となっているため、怠りはない。交通安全は高知市の協力で交通安全教室を実施。
		②避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		③健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
④乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○					
研究・研修	園内研究・研修	①研究主題は、保育・教育目標の具現化につながるものであるか。	○				コロナ禍によって対面研修が激減したが、オンライン研修によって、移動の負担がなく、研修に参加できている。認定こども園化によって、保育者の保育業務が増えたため、研修日程の調整が難しくなった。
		②園内研修の計画・運営は適切か。		○			
		③研究の成果が日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映させているか。		○			
		④研究の実践による幼児理解が深まりを見せているか。		○			
	園外研究・研修	①各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			全体的に必要な研修報告は職員会で報告、協議している。
		②各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○			

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
情報について	①乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			個人に関する書類等は、鍵付きのキャビネットを設置して保管している。 文書はファイル保管。 電子媒体は外付け媒体で保管。	
	②公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。		○				
	③各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○				
施設・設備	①園舎・園庭の施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				耐震化・認定こども園化の工事が終了し、旧遊具を新遊具に建て替え。 教材、用具も再度整理し配置の見直しを実施。 防犯対策としてブロック塀のフェンス化及び不審者侵入防止のためフェンス及びインターホンの設置。 掲示板は行政によるものは必ず掲示。	
	②遊具・用具・教材等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	③不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。	○					
	④掲示板、掲示場所等を適切かつ効率的に活用しているか。	○					
出納経理	①各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				決算は公認会計士、出納帳は顧問税理士によるチェックを実施している。	
開かれた幼稚園づくり	他校種間交流・連携	①他校種との年間交流計画は、保育・教育目標や課題に添ったものになっているか。		○			他校種の校長等による電話による情報交換は事欠かないが、他校種も参加制限があり実現は難しい。 他校種のカリキュラムの関係上、園の招聘の都合が合わず実現は難しい。
		②他校種の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・指導を行っているか。				○	
		③指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの教育に対しての理解を深め援助について共通理解を図っているか。			○		
		④参観や保育・授業等に参加するなどして、他校種教育を理解しているか。		○			
		⑤日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	①参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。				○	コロナ禍によって中止が続発している上、開催しても参加人数に制限を設けるため、実施は難しい。 今年度の夏祭り・秋祭りも保護者のみの参加となった。
		②保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		③(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		④地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。				○	

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた幼稚園づくり	子育て支援の推進	①地域の子育てセンターとして、園庭、保健室等を開放しているか。		○			園庭開放・親子登園実施の案内をSNS等で通知しているが、コロナ禍によって参加人数が少ない。預かり保育はニーズがない。親子登園で子育て相談しているが、参加数が少ない為学習会レベルのボリュームに欠ける。親子登園・園庭開放での報告で研鑽しているが、県による親育ち支援研修が機能していない。特別支援の園児が在園している為、教育センターの就学前相談等各種機関と連携をとっている。
		②地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。		○			
		③地域の実態を捉え、計画的な預かり保育を行っているか。			○		
		④「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		⑤教職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		⑥医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	①園だより・学級通信、ホームページ等で園の情報を発信しているか。	○				
		②行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や他校種に対して周知しているか。		○			
	外部評価	①第三者評価・関係者評価の意見を園運営に反映しているか。		○			学校評価にて総評を職員会で報告。
		②地域や保護者の意見を園運営に反映しているか。		○			